



2022年11月14日

各 位

会社名 新田ゼラチン株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾形 浩一
(コード番号: 4977 東証プライム)
問合せ先 取締役執行役員 長岡 令文
管理本部長
電話番号 072(949)5381

2023年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異、
通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値の差異について

(1) 2023年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値の差異(2022年4月1日~2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,500	百万円 700	百万円 700	百万円 400	円銭 22.09
当期実績(B)	19,179	1,360	1,625	911	50.33
増減額(B-A)	1,679	660	925	511	
増減率(%)	9.6	94.3	132.3	127.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	14,863	593	696	374	20.69

(2) 実績値との差異の理由

売上高は、北米、インドにおいてコロナ禍で健康促進や予防意識の高まりによるカプセル用ゼラチンの需要が旺盛であったこと及び日本においてグミキャンディーの需要が堅調であったこと等から、業績予想を上回りました。

また、各利益のいずれも海外での売上伸長及び為替差益等の計上により、業績予想を上回りました。

2. 2023年3月期 通期連結業績予想の修正について

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 36,000	百万円 1,600	百万円 1,500	百万円 900	円銭 49.71
今回発表予想(B)	39,000	2,600	2,900	1,400	77.21
増減額 (B - A)	3,000	1,000	1,400	500	
増減率 (%)	8.3	62.5	93.3	55.6	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	31,783	1,560	1,734	726	40.16

(2) 業績予想の修正の理由

売上高は、北米、インド及び日本における需要が引き続き堅調に推移する見通しであり、併せて為替レートが当初想定レートよりも円安に推移しており、海外子会社の円貨建て売上高が想定を上回る見込みであります。

また利益は、原料費の高騰、ユーティリティコストの増加等先行き不透明な状況であるものの、海外での売上伸長に伴い、想定を上回る見込みであります。

したがって、通期の業績予想を売上高及び各利益のいずれも上記のとおり上方修正いたします。

3. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭 7.00	円 銭 7.00	円 銭 14.00
今回修正予想	—	9.00	16.00
当期実績	7.00	—	—
前期実績 (2022年3月期)	7.00	7.00	14.00

(2) 配当予想の修正の理由

当社は、中長期的視野に基づく事業展開を考慮し、内部留保の充実により企業体質の強化を図りつつ、株主資本配当率 (Dividend on equity ratio) 1.5%以上の配当に努めることを株主還元の基本方針としております。

今般、通期業績予想を上方修正したことに伴い、上記の基本方針を踏まえまして、当期の期末配当予想を1株当たり7円から2円増配し、9円に引き上げることといたします。これにより、1株当たりの年間配当金は、前回発表予想から2円増配となる16円となります。

注) 本資料に記載の予想数値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上